

当院で腹部ヘルニアおよび鼠径ヘルニアに対する治療を受けられた（られる）方へ

NTT 東日本関東病院では、以下の臨床研究を実施しております。

○研究課題名

腹部ヘルニアおよび鼠径ヘルニア症例のデータおよび手術ビデオの学会及び論文発表に関して

○研究実施機関

NTT 東日本関東病院 外科

○研究責任者

外科 部長 佐藤 彰一

○研究の意義と目的

腹部のヘルニアは、そのほとんどは鼠径ヘルニアですが、それ以外にも、外科手術をおこなったあとの創におこる腹壁癒痕ヘルニア、人工肛門周囲におこる傍ストマヘルニア、臍周囲が膨隆する臍ヘルニア、胃が横隔膜を越えて胸腔に脱出する食道裂孔ヘルニアなど様々な種類があります。頻度は、鼠径ヘルニアでみると、男性の 4 人に一人が生涯に罹患すると言われる非常に一般的な疾患です。今後高齢化社会が進むにつれ、病因に加齢変性的な側面もある鼠径ヘルニアや、術後の腹壁癒痕ヘルニアの頻度は増加するものと考えられます。本研究の目的は、ヘルニアに罹患した患者さんの治療に関する情報を収集し今後の治療に役立てることです。

○研究内容

ヘルニアに対する治療の安全性や合併症、その後の経過などについてのデータを収集します。手術などでビデオの記録がある場合には、それも研究の対象とします。

○対象となる方

2000 年 12 月以降に当院でヘルニアに対する治療を施行された方。

○実施方法

当院で行われた手術情報、治療経過等カルテから得られる過去の診療情報の

みが使用されます。

○実施期間

2000年12月より上記治療を受けられた方が対象になります。

○個人情報の取り扱い

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように匿名化して扱います。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は10年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

○費用

特にありません。

○利益相反

特にありません。

○同意の撤回

すでに研究に同意をされた方も、ご本人または、その代理人の求めがあれば、同意の撤回を行うことが出来ます。いただいた情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合には、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

○問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 外科 佐藤 彰一

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111